

ヒアリング結果について

1. 株式会社クレディセゾン

有名55社「女性登用力」ランキング第2位（Yomiuri Weekly 2003.9.21号）のクレジットカード会社

(1) 女性の登用状況

	係長職	課長職	部長職	全社員
役職別男女別構成比	78%	23%	13%	59%

(2) 女性が働きやすい仕組み

- ・能力、成果主義を取り入れたメイト社員（パート社員）制度。
- ・ライフサイクルに応じた雇用形態（ルートチェンジ制度、短時間勤務制度）。
- ・キャリアを生かした再雇用（リワークエントリー制度）。

(3) 女性の政策・方針決定過程への参画について

- ・女性が増えたことによる変化は特になし。
- ・女性が家庭と両立しながら活躍することを奨励する企業風土作り。
- ・能力ある人は性別にかかわらず登用される。それは競争社会における生き残りのための必須条件。
- ・女性の更なる飛躍には、女性自身の意識改革も必要。

2. 神奈川県大磯町議会

平成15年6月の町議会議員選挙により、女性議員と男性議員が同数となる。

（定数18名）。議長も女性である。

(1) 女性議員数

年	S42～	46～	50～	54～	58～	62～	H3～	7～	11～	15～
女性議員数	1名	2名	2名	3名	3名	5名	5名	5名	6名	9名
構成比	4.5%	9.1%	9.1%	13.6%	13.6%	22.7%	25%	25%	30%	50%

(2) 女性議員の増加について

- ・女性が増えたということについて意識の中では以前と変わらない。
- ・住民運動、地域活動などを熱心に行ってきた意識の高い人が、活動グループの支持を得て立候補することがある。
- ・女性議員は、議会後の広報も積極的に行っている人が多い。
- ・議会の傍聴者で、自分が議会を立て直そうと思って立候補したという人もいる。
- ・男性は歳費の関係もあり、仕事を持っていると立候補しにくい。

(3) 議会での変化について

- ・議会の運営では、特に変化はない。
- ・生活者の視点を取り入れる点においては女性の方が優れていると感じる。
- ・各委員会の委員長に女性が増えた。（3常任委員会の内、2つは女性委員長）